



“これから働く学生のための
座談会”に参加して

鈴木 彩恵 (札幌支部)

昨年12月に、コンクリート工学会北海道支部若手会の主催する“建築業界で活躍する女性技術者とこれから働く学生のための座談会”に、パネラーとして参加しました。企画立案は若手会の女性で構成された“建設どさん娘の会”によるものでした。

北海学園大学工学部の教室内で開催され、参加者はパネラー5名と、室蘭工業大学・北海学園大学の建築学科・土木学科の女子学生19名。他、サポート会員や新聞社など多数の方々がいらっしゃいました。建築士会からの参加は、札幌支部女性委員長の新海さんと私の2名でした。

内容は、パネラー各自の10分間自己紹介から、5～6名の班に分かれてグループトークという流れでした。私以外のパネラーの自己紹介が素晴らしすぎて、すっかりうなだれてしまいました。学生さんとの座談会は大変楽しく過ごさせていただきました。

就職活動が始まる前の企画との事で、3年生・2年生と大学院1年生の参加でした。1班あたり20分程度の時間では、十分に話を引き出す事が出来ずに終わってしまった感じがしました。お互いに、初対面での活発な話し合いはなかなか難しいので、もっと学生さんの興味を探ろうと必死になってみましたが、短時間ではなかなかうまくいかなかったように思います。

それでも少しずつ身体がほぐれてくると、「興味がある事で仕事をするには、どういう会社で働くのが良いのか？」などの質問がありました。今は、個人の働き方も企業も、私の学生の頃に比べるとずいぶん多様化しているので、選択肢が多いように思います。いろいろな人と話す機会があると、だんだんモヤモヤが晴れてくるはずなので、少しでもお役に立てると良いな…と、思いました。

今回、声をかけてくださった“建設どさん娘の会”の皆様には、大変感謝しております。次は、こちらからお誘いできるような楽しい企画を考えたいです。

住教育出張講座
「インテリア編」

後藤 朋恵 (札幌支部)

住教育出張講座「インテリア編」を2月26日に南幌高校2年生11名を対象に開催しました。

前年の10月に間取り図を制作し、自身の制作図をさらにインテリアコーディネートして、プレゼンボードを作り発表するという、難易度の高い出張講座です。建築士会から講師3名で対応しました。

一昨年は女子高での開催でしたが、今回は生徒11名中男子が9名でしたので、興味を持ってくれるのか多少不安な気持ちで臨みましたが、実際プランボード制作にかかると積極的に自分のイメージを雑誌から見つけ、クロス・床材・カーテン・家具を着々とセレクトし、用意した商材と一緒に探して、楽しく集中している様子で、あっという間の3時間授業でした。

最後の発表までには、インテリアボードも完成して自分なりのこだわり、どんなテイストが好きかを発表してもらいました。中には、グリーンアイテムを多用した、完成度の高い作品があり、先生に何うと、建築士志望の生徒とのことでした。また、生徒達は10月に間取りを制作したことで住まいに関心を持つ事が出来、今回のインテリアボード制作も積極的に取り組めたというお話でした。

普段の生活では触れる事が少ない商材に実際に触れて、自分の部屋のイメージを表すという講座を授業で開催させていただき、高校側のご協力に感謝します。



参加者にて記念撮影



商材を選んで、インテリアプレゼンボードを作る様子